

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 30 2015.8.1

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

カルチャーミュージアム（学べる博物館）探検隊リレー講座 ⑤

【第5回講座】

「地域まるごとミュージアム」を覗いて歩く

日時 平成27年9月5日（土）午前9時～午後2時

集合場所 浜田市金城町波佐 ときわ会館

参加料 500円（資料代など）ほかに資料館入館料

主催者 地域研究センター協議会（090-4697-2818）



【見学コース】

【浜田市金城民俗資料館】

波佐の山村生産用具758点（国指定）、波佐の山村生活用具221点（島根県指定）など3,000余点の民具を展示。「民俗資料回想セラピー」を活用した認知症の予防、抑制の出来る資料館です。

【浜田市金城歴史民俗資料館】

200年前に建てられた「鈿蔵」を改修して資料館としたもので、石見地方唯一の「たたら関係資料」3500点を展示。チベット探検家能海寛資料3,000点、文豪島村抱月資料50点、埋蔵文化財3,000点を展示。

【天頂山浄蓮寺／能海寛顕彰碑／歌碑／ハクモクレン】

能海寛の生家・浄蓮寺は、大正5年建築の総ケヤキ造りの本堂、築230年の鐘楼門、顕彰碑、薬師山の歌碑、寛手植えの記念樹ハクモクレン（市指定天然記念物）など。

【大歳神社】

1300年前に長田別府（宮地谷）に勧請され、永萬年間に波佐一本松城の東北の鬼門除けとして現在地に遷宮された神社。永萬年間年間には、「黒金」が年貢注文されていました。

【常磐山八幡宮／絵馬／大杉／カシ林遊歩道】

宇治川の先陣争いの武将佐々木高綱創建の常磐山八幡宮、絵馬（16点）、大杉5株（県指定天然記念物）、みんなで守る郷土の自然「常磐のカシ林」遊歩道。パワースポット2か所（千年杉・手水鉢）など。

【普明山永昌寺／尼子経久の墓／大杉】

山陰の武将尼子経久が長子・政久の急逝を弔い永正寺（臨済宗）を創建した。経久没後に分骨墓が裏山に営造された。その後、永正寺は消失したため、津和野の永明寺末寺、永昌寺（曹洞宗）として改称。

【波佐菅沢天満宮】

正安2年（1300年）、普明山永昌寺の裏山に遷宮され、明治25年（1892年）に現在地の元菅沢庄屋敷敷跡へ移転された。旧天満宮跡には大杉1株（市指定天然記念物）が往時を物語っている。

【島村抱月生誕地顕彰の杜公園】

島村抱月の生誕した小国村下土居の地に生誕地顕彰の杜公園（胸像・略歴碑・歌碑・メロディボックス）が造られている。

【大旧山光超寺／大イチョウ】

寛文8年（1668年）に創建される。抱月の父一平の終焉地。大イチョウ1株（市指定天然記念物）。